

# 倉掛新聞

〈発行所〉  
倉掛自治連合会  
井原市井原町倉掛  
会長／佐能敏政  
〈編集〉  
倉掛自治連合会  
倉掛少年団育成会  
消防井原分団第3部

## 令和4年度スタート

### 倉掛自治連合会会長に佐能敏政氏



倉掛自治連合会は新役員二人を迎え、佐能敏政会長（13-3組）を中心とする11人体制の人事案等が承認されたことから、2年任期の活動に入った。

#### 令和4年度自治会長

- ※カッコ内は世帯数
- 1 組(9) 平井 達也
  - 2 組(5) 西村 彦雄
  - 3 組(12) 豊池 義秀
  - 4 組(6) 渡辺 研一
  - 5-1 組(10) 山元 幸治
  - 5-2 組(8) 笠原 進
  - 6 組(7) 山岡 清孝
  - 7 組(6) 倉橋 一郎
  - 8 組(21) 浜田 勤
  - 9 組(4) 三宅 勝
  - 10 組(3) 安原 陽子
  - 11 組(6) 渡辺多美代
  - 12-1 組(4) 西山 房子
  - 12-2 組(14) 花本 啓史
  - 13-1 組(7) 西山 津好
  - 13-2 組(13) 倉橋 誠
  - 13-3 組(17) 横田 精剛
  - 14 組(10) 廣井 一士
  - 15-1 組(11) 塚村 秀司
  - 15-2 組(7) 中島 順三
  - 16 組(15) 田邊 裕章
  - 17 組(7) 川相 晃一
  - 18-1 組(10) 瀬川 隆治
  - 18-2 組(10) 小谷 規之
  - 18-3 組(5) 佃 拓哉
- 〔総世帯数227戸〕

#### 予算案は書面表決

自治会予算総会は新型コロナウイルス感染症予防の観点から行わず、今年も書面表決の形式を採った。自治連合会役員が各組自治会長宅を訪れ、予算案等を説明。全自治会長の同意を得たことから、関係書類を回

### 育成会長に藤井氏

#### 倉掛少年団関係

倉掛少年団が令和4年度の年間行事実施へ向け、スタートを切った。郷社清掃と井原桜まつり健康ウォークは新型コロナウイルスの關係で取りやめとなったが、他の前期活動は前向きに行う方針。

### 3年連続 井原町大運動会中止へ

例年5月に開催しております井原町大運動会は、今年度も新型コロナウイルス感染症拡大状況を踏まえ、地域の皆様の健康と安全を確保するために中止となりました。



〈倉掛自治連合会〉  
会長 佐能敏政  
副会長 増成実  
総務 渡邊伸太郎  
環境 川相勝  
消防 濱田英樹  
交通 山岡秀男

福祉体育 村上達也  
防災広報 佐藤謙治  
監(幹)事 國田和馬  
監事 妹尾文彦  
友愛愛育 横田知恵  
育成会長 藤井大輔  
第3部長 田中達也

《育成会役員》  
会長 藤井大輔  
副会長 高橋宏真  
副会長 請田勇介

#### 運搬作業に追われる5月の郷社境内の清掃



郷社足次山神社の一斉清掃が5月1日、午前8時より倉夏の氏子や神社役員ら25人が参加して行われた。今回はクヌギなどの葉っぱが大量に落ちており、清掃は難航。かき集めた落ち葉はブドウ栽培の肥料として使ってもらうため、30袋のフレコンバックに入れ、2台の軽トラックで青野町へ。運搬を繰り返した結果、すべての作業は午前11時ごろに完了した。

### 大量の落ち葉はブドウ畑へ

郷社清掃に25人参加

副会長 坂野由紀  
副会長 山岡里枝  
副会長 花本啓史  
監査役 渡邊大輔

顧問 川相謙治  
《少年団役員》  
副团长 藤井奏太  
副团长 谷愛里子



マーカーは7月16日、真備美しい森（倉敷市真備町市場）での実施を

資源回収や秋季大祭など地域に関わる継続行事が多く組まれる少年団活動だが、毎年行き先が異なるサ

倉掛少年団初代団長の藤原達一さん（享年76歳）が3月29日、亡くなられた。藤原さんは1964年12月、第15回全国高校駅伝大会に盛進高校のメンバーとして出場し、2時間10分10秒の大会新記録で優勝。自身も6区で区間賞（区間新）を獲得した。実業団（スズキ）で活躍後、倉掛へ戻って家業の製パン業を継ぎ、昭和63年、仲間と井原陸上競技クラブ（初代監督）を立ち上げ、地元の陸上競技界発展に貢献した。平成8年3月、パン製造の指導者としてモンゴルへ。知り合った同国の陸連関係者に大草原を走るマラソン大会の魅力を提案。翌年8月には「第1回モンゴル国際マラソン」（モンゴルオリピック委員会主催）の開催にこぎつけた。藤原さんが実行委員長を務めた

### 国際マラソン

「おもしろかったー」 藤原達一さん逝去

大会は大成を収め、その後、大統領から頭章バッジと感謝状が授与され現在に至っている。平成10年、神辺東中学の体育教師だった森政芳寿氏に興譲館女子駅伝チームの創部を進行。構想は的中し、その後の経過は周知のとおりである。近年はマラソンへ目を向け、昨夏の東京五輪女子マラソンに出場したムンフザヤ・バヤルツォクト選手（モンゴル）の指導に当たっていた。ジョン・カリウキラケニア人留学生を滋養学園などへ長距離選手として呼び寄せるなど、国際感覚に長けていたことでも知られる。1991年世界陸上（東京）で、カール・ルイスの100mの走りを見事に「感動」。病床にあっても気丈に「おもしろかったー」と我が人生を振り返り、天国へ駆け上がった。ご冥福をお祈りします。

開催提案 今に至る



# 春の日差し満喫

山神社境内で4月7日午前10時より、満開の桜を眺めながら戸外レッスンを

## 郷社境内で爽やかヨーガ



山神社境内で4月7日午前10時より、満開の桜を眺めながら戸外レッスンを

新緑が美しい郷社境内でサロンあすはが5月16日、定例のグラウンドゴルフを行った。

毎月1回実施している会員限定のお楽しみ会には15人が参加。約2時間、和気あいあいとプレーを楽しんだ。

## サロンあすはがグラウンドゴルフ

グラウンドゴルフ参加者		
岡本哲二	田中 博	濱田精三
田原耕太郎	寺内知久子	渡辺公恵
山岡節子	井上純志	瀬川治子
丸山節子	山岡由紀恵	渡辺照子
細羽正敏	藤原朱美	森 典子

「グラウンドゴルフはベテランも初心者も楽しめますよ」



## 「大助かりです」

井原地区粗大ごみ回収

自治連役員ら活躍

井原市環境衛生協議会による井原地区不燃性粗大ごみ回収が井原小学校校庭で4月24日午前8時より、井原町内の自治連役員ら



雨具を着て作業をする関係者

この日集まったのは、吉江理加先生(笠岡市)を講師に招き、毎月1回スパイスカレー付ヨーガを楽しんでいるグループ。

終了後は皆でカレーを食べるなど、春の日差しの下で穏やかなひとときを過ごした。参加希望者はアンコールカフェまで(田邊)。

倉掛少年団と同育成会が5月8日、倉掛公園及び小田川土手の清掃奉仕作業を行い、関係者約40人が参加した。

## 頑張って清掃奉仕作業

倉掛少年団 & 育成会

午前8時、倉掛公園に集めた関係者を前に育成会の藤井大輔会長が「水分補給を忘れず、ケガに気を付けて頑張らしましょう」などと挨拶。女子団員は公園内

### 地域に役立っている少年団活動



熱心に正午前まで作業を行った。

この日初めて少年団活動に参加した4年生も、上級生らとの草の片付け、男子団員は外周の溝掃除を担当した。一方、小田川土手では男性育成会員と倉掛自治連合会のボランティアが草刈りに汗を流した。

## 倉掛ほっと情報

### ■総代会、神社費拠出に理解求める

郷社足次山神社総代会は先般、本年度の神社費について集計を行い、倉掛夏目両地区ともに納入世帯数は微減、集金額で増加したことを明らかにした。社務所修理や樹木伐採等の年間経費を予算化し、倉掛地区民へ「1世帯1日当たり5.6円拠出いただくことで神社の運営が維持できます」とひびくした財政状況を回覧で伝えていた。

大久保克朗総代長(倉掛8組)は「皆々様に神社費拠出をお願いをするのは、氏神様である足次山神社が地域の共有財産にほかならぬからです。今後ともよろしく願いいたします」と理解を求めている。

郷社は地域の共有財産

### ◆ 行事予定 ◆

- 5/22~29 倉掛全戸溝上げ
- 6/5 井原分団第3部試運転日
- 6/5 倉掛少年団資源回収 ※予備日 6/12
- 6/5 倉掛地内汚泥積込
- 6/10 サロンあすは交流会
- 6/11 倉掛少年団育成会・定例会
- 6/18 倉掛自治連合会 定例会&防犯パトロール
- 6/19 井原学区少年団球技大会 ※予備日 6/26
- 6/19 櫻の杜の市(門田町大谷)
- 7/3 井原分団第3部試運転日
- 7/16 倉掛自治連合会 定例会&防犯パトロール
- 7/16~17 倉掛少年団キャンプ ※真備美しい森
- 7/24 倉掛少年団ラジオ体操 ※7/24~8/6

※つどえ〜のカフェはコロナ禍のため休止中  
※つどえ〜の金曜朝市はコロナ禍のため休止中

